

いこい通信

第19号
2024年2月

発行 一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

「いこい通信」は、宮城県内で避難者支援にあたられている方々に、福島県からの県外避難者（広域避難者）の置かれている状況や、宮城県内・他地域における支援活動の様子等をお伝えする情報紙として発行しています。自らの意思に反して全国への分散避難を余儀なくされた方々が、避難先で適切な支援につながっていくための一助となることを目的としています。

■ ふくしま仙台サロン 2023年度開催レポート（2）

福島県から宮城県内に避難されている皆さんの定期交流会「ふくしま仙台サロン」。気候の良い秋季には仙台市内で街歩きをしたり、冬季には屋内で生け花サロンをしたりと、時期に応じて内容を工夫して開催しています。

○9月29日

「仙台市内街歩き企画①仙台市野草園を散策」
(参加者7名)

仙台市営バスを活用して、仙台市太白区の大年寺山にある「仙台市野草園」と、同じく太白区の愛宕山にある「愛宕神社」を訪れました。愛宕山から仙台市街地を一望した後、仙台市中心部に移動してランチ会を行いました。



○10月18日

「仙台市内街歩き企画②少し昔の仙台の残滓を求めて」
(参加者5名)

JR仙台駅を発着地として駅の東口（宮城野区榴岡）エリアを散策しました。榴岡公園とその中にある仙台市歴史民俗資料館を見学、近くの榴岡天満宮にお参りしました。その後、仙石線が地下化する前のルートに沿って街歩きし、街の変化を実感しました。



○1月17日

「新年生け花交流会」 (参加者14名)

「つなげよう花の心」実行委員会の皆さんにご支援いただき新春の生け花をしました。雪柳、カーネーション、菜の花と春を感じる花材で生け花をした後、先生のデモンストレーションを見学しました。その後、ランチ会をしながら、今年度残りのサロンなどについて話し合いました。



これらの交流会は2023年度福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金の支援を受けて開催しました。

■ ふくしま仙台サロン 外出支援の活動も継続中

「ふくしま仙台サロン」では、年に数回開催する「作戦会議」で話し合っサロンの内容を決めています。この数年間、新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか外出ができなかったこともあり、今年度はみんなで外出するサロン「おでかけサロン」を重点的に開催しています。秋以降のおでかけサロンの様子を紹介します。

○9月8日

「山形県最上地域～村山地域へ」

(参加者 21 名)

昨年度要望があったものの新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった山形県の村山～最上地域を訪れるサロンとして開催。「大石田そば街道」のお蕎麦屋さんで昼食をいただいた後、有名なだんご屋さんやマッシュルーム工場を訪問しながら、交流しました。



○10月4日

「会津地方 大内宿を散策しよう」

(参加者 23 名)

こちらも多く要望があった会津方面の交流会。南会津の観光地「大内宿」を訪れ、交流しました。最初はあいにくの雨模様でしたが、散策しているうちに雨も上がり、秋の大内宿をゆっくり見ることができました。帰り道で立ち寄った郡山市内の産直施設では、その周辺に避難されている方がサプライズ合流、さらに交流が深まりました。

○11月8日

「山形・鶴岡 加茂水族館見学」(参加者 26 名)

作戦会議で「クラゲの水族館見に行きたいね」との声をいただき、月山を超えて日本海側まで足をのびました。移動距離が長くなるので、鶴岡市内に入ったところで昼食。その後、沿岸加茂地区にある加茂水族館を訪れました。クラゲの成長がわかる展示や、約1万匹のミズクラゲが泳ぐ大水槽を見学。初めて見る・知ることの多い時間となりました。



【発行者・連絡先】

一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム

〒984-0065 宮城県仙台市若林区土樋 254 ニューメゾン土樋 201

電話：022-353-7550

FAX：022-397-7230

info@tohokuconso.org

http://tohokuconso.org/

KEIRIN



「いこい通信」は競輪の補助を受けて発行しています。(公益財団法人 JKA 補助事業)